

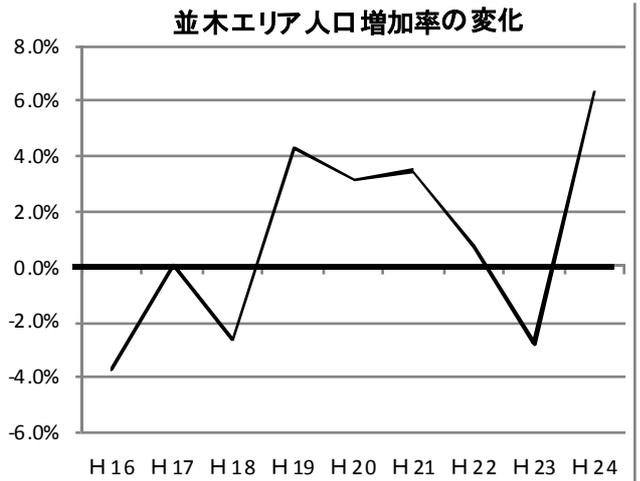
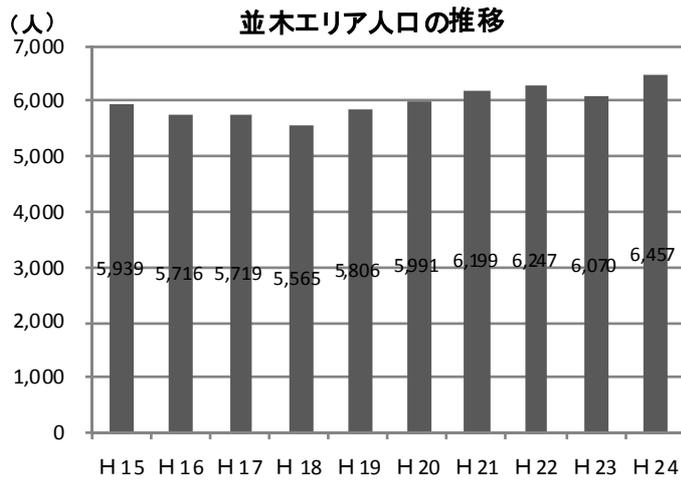
### 3. 並木エリアに関する各種データ

#### (1) 人口（総数）

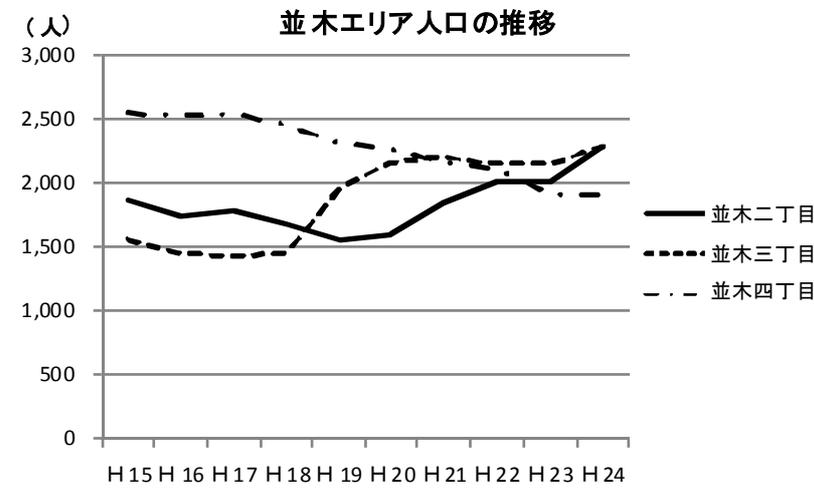
○平成 18 年までは公務員宿舎の廃止等の影響により、人口が減少していたが、平成 19 年から増加している。

○民地が多い並木四丁目は人口が減少しているが、並木二丁目、三丁目においては、増加している。

■人口の推移（各年 10 月時点）



■町丁目別人口の推移（各年 10 月時点）

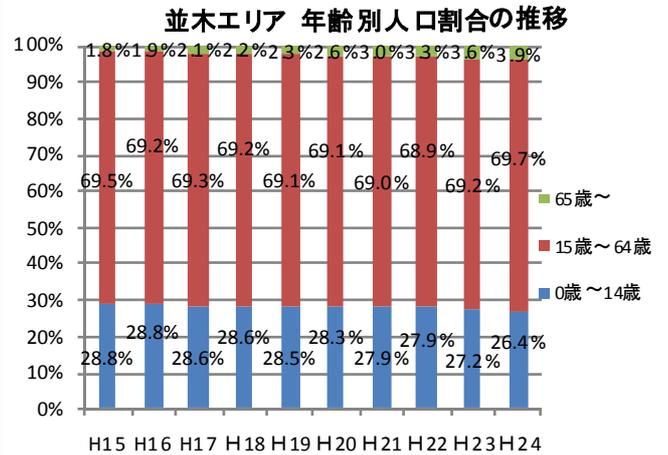
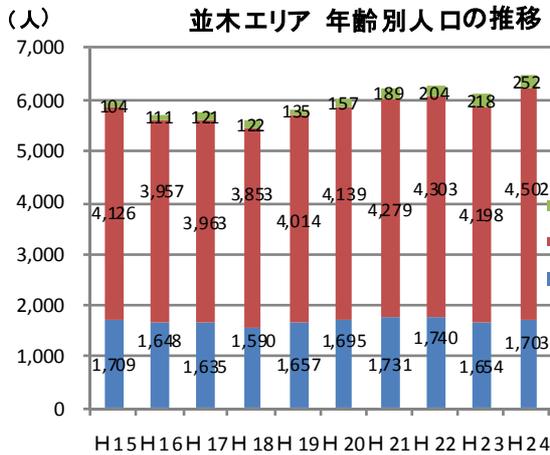


資料：つくば市資料

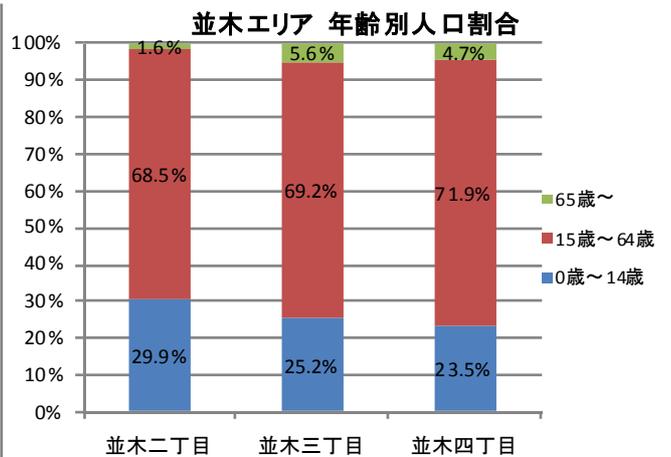
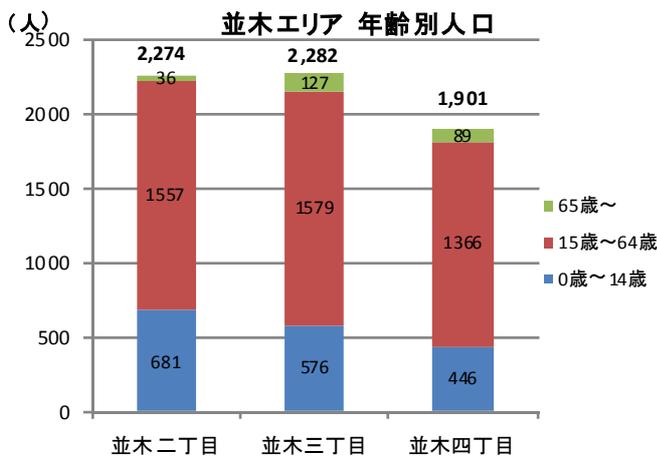
(2) 人口（年齢別）

○公務員宿舎が多いことなどにより、高齢者の割合が低い（4%程度）が、若干上昇している。（つくば市全体では16%）  
 ○公務員宿舎が多い並木二丁目は、高齢者の割合が非常に低い。

■年齢別人口の推移（各年10月時点）



■町丁目の年齢別人口（H24.10）

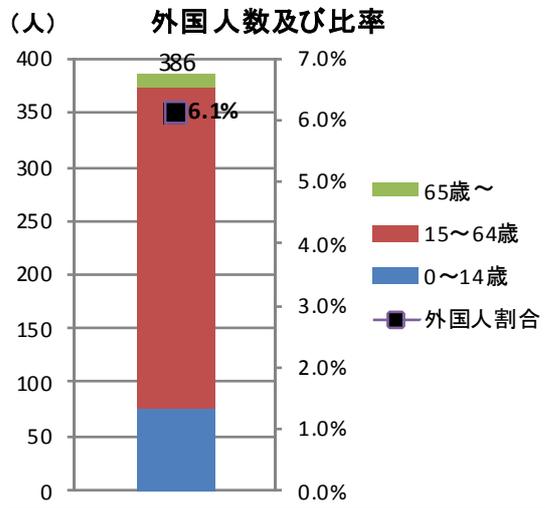


資料：つくば市資料

(3) 人口 (外国人)

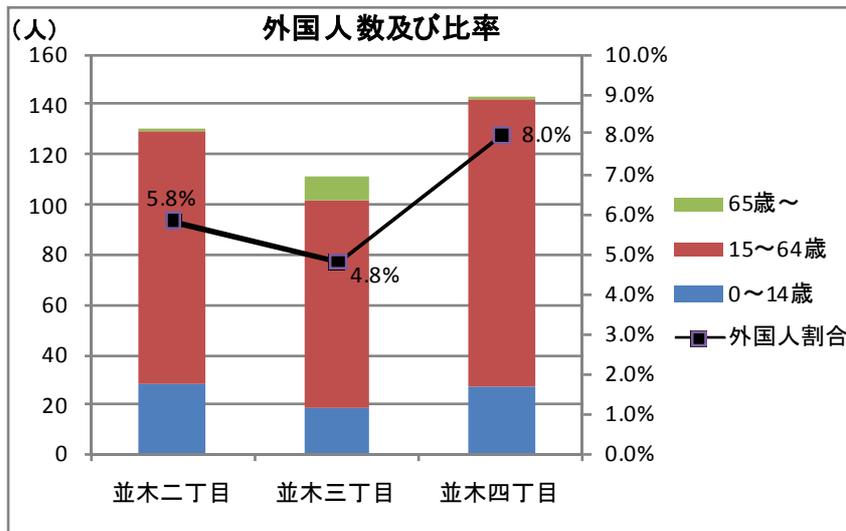
- 並木エリアについても外国人比率が6%と高い。
- 町丁目別では、民間賃貸住宅が多い並木四丁目が10%と最も高い。

■外国人数及び外国人比率 (H25.4)



	0~14歳	15~64歳	65歳~	合計
並木二丁目	29	101	1	131
並木三丁目	19	83	9	111
並木四丁目	28	114	2	144
<b>合計</b>	<b>76</b>	<b>298</b>	<b>12</b>	<b>386</b>

・町丁目別外国人数及び外国人比率



資料：つくば市資料

(4) 土地利用

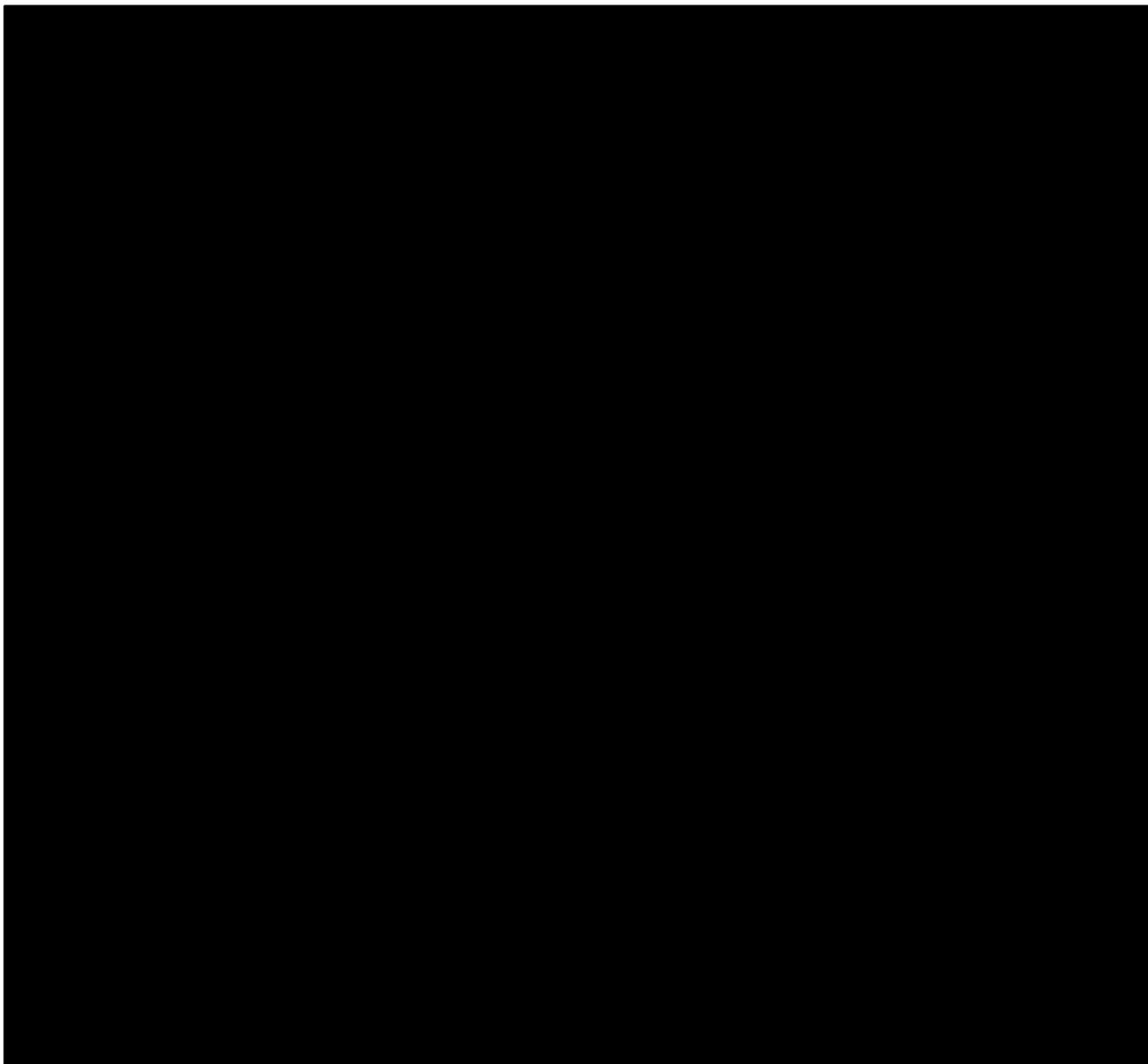
- 並木エリアは、全面積の約 35%が公共用地，約 30%が公務員宿舎であり，約 7 割が公的な土地利用となっている。
- エリアの中心に保育所などの公共施設及びショッピングセンターが立地している。小学校はエリア北側，中学校はエリア南側位置している。住宅は西側が主に公務員宿舎などの公的住宅，南西が民間住宅地となっている。
- エリア内には並木ショッピングセンターが立地する広場を中心に，ペDESTリアンデッキが張り巡らされている。

■土地利用の状況

		面積	公共用地	割合	公務員宿舎	割合
並木エリア	並木二丁目	31.4	11.9	37.9%	12.0	38.2%
	並木三丁目	31.2	9.6	30.8%	7.0	22.4%
	並木四丁目	32.5	13.4	41.2%	10.2	31.4%
<b>並木エリア合計</b>		<b>95.1</b>	<b>34.9</b>	<b>36.7%</b>	<b>29.2</b>	<b>30.7%</b>

資料：平成 19 年都市計画基礎調査及びつくば市資料

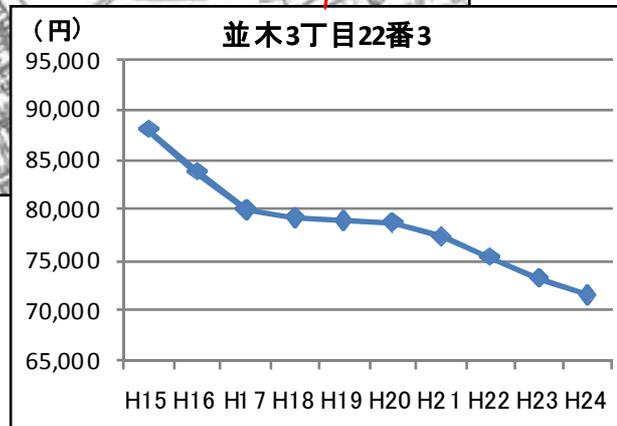
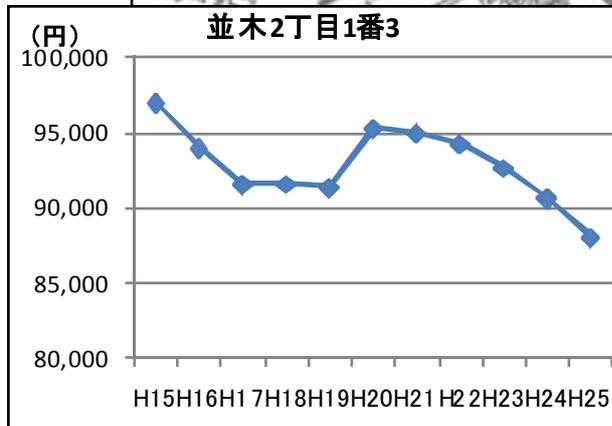
■並木エリア図面



(5) 地価の動向

○バブル崩壊後、地価は下落していたが、T X 開通後に一時的に上昇した地点も存在する。しかし、平成 20 年以降は下落している。

■地価公示価格及び地価調査価格



資料：地価公示価格及び地価調査価格

(6) 交通

- 並木エリアは、並木ショッピングセンター内に小規模なバスターミナルが存在し、エリアの拠点となっている。
- エリアを横断するバス路線が存在するが、本数が少なく、メインのバス路線は、東大通り沿いである。

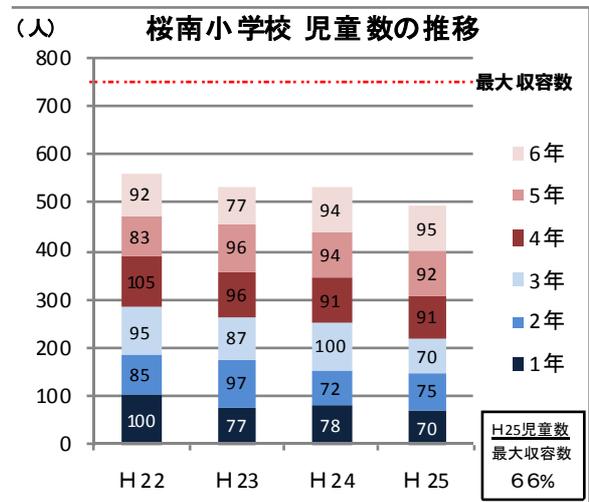
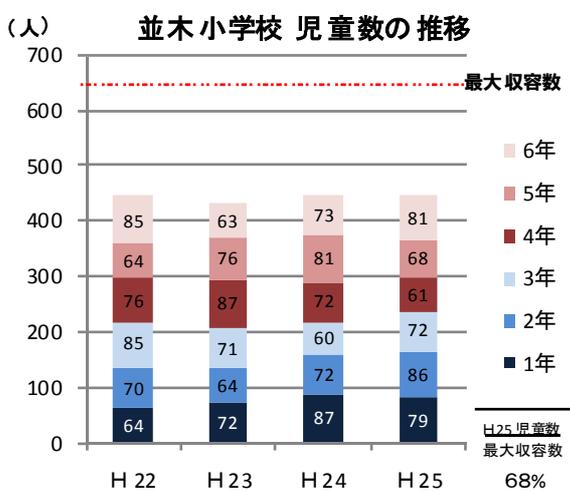
■交通機関

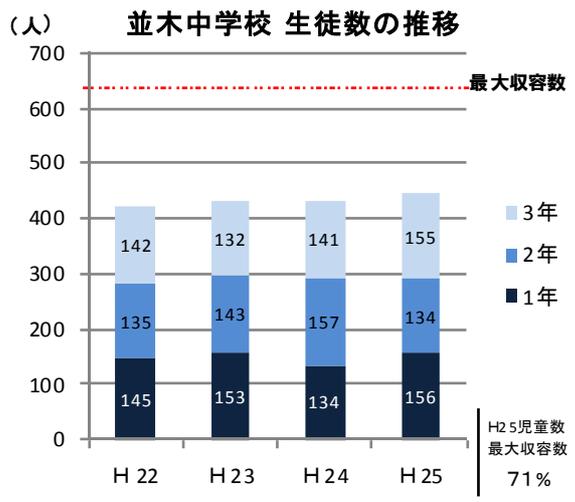
鉄道	なし	
バス	バス停数	6箇所
	路線数 (高速バス除く)	24路線(系統数)
	高速バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京駅</li> <li>・羽田空港</li> <li>・茨城空港</li> <li>・京都・大阪</li> <li>・運転免許センター</li> <li>・ディズニーリゾート</li> </ul>

(7) 学校

- 公務員宿舎の廃止が行われているが、新たな住宅が立地しているため、大きな児童数の減少は見られない。民間住宅地が多い桜南小については、児童数が減少している。
- 並木エリアは、最大収容数の7割弱であるため、若干余裕がある。

■学校別児童、生徒数の推移(各年4月現在)

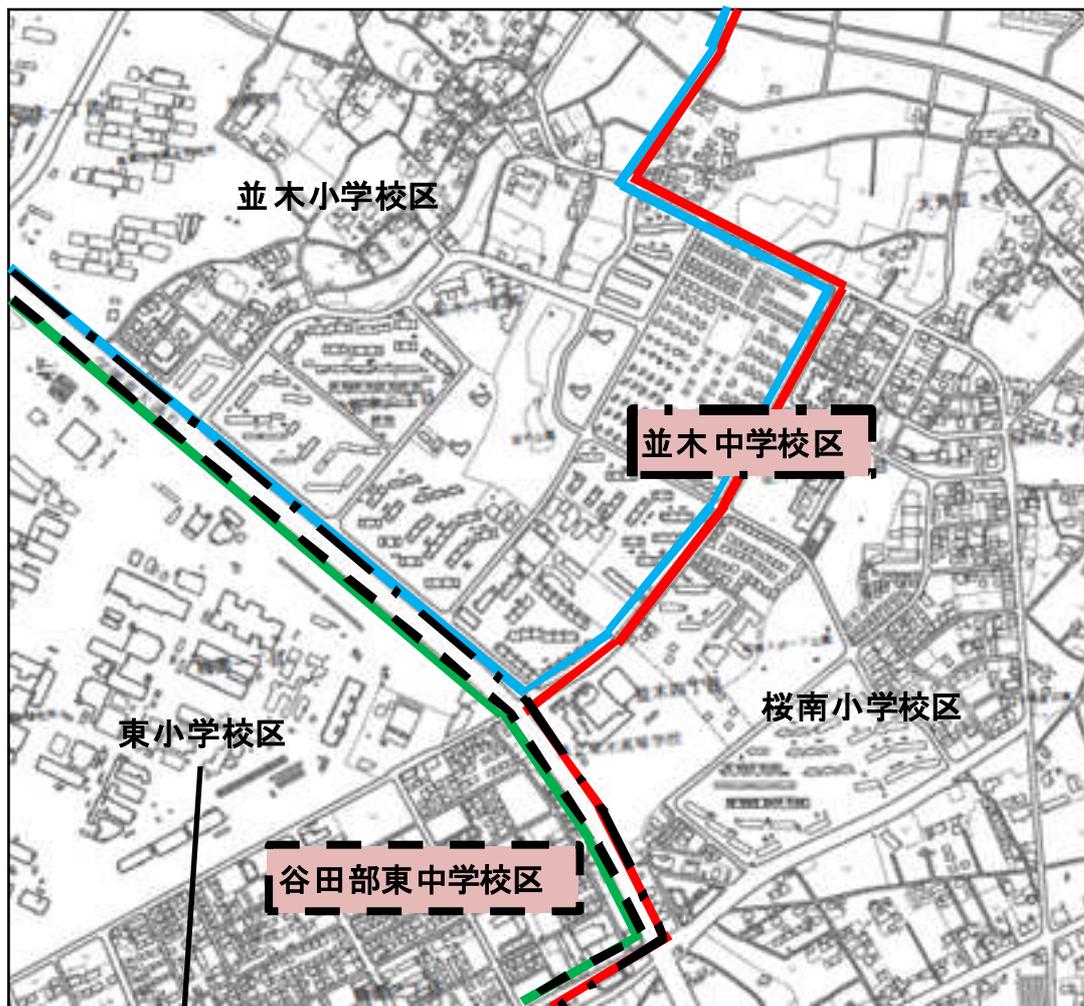




■生徒数及び最大収容人数 (H 25. 4)

学校名	生徒数	最大収容人数	割合
並木小学校	447 人	660 人	68%
桜南小学校	493 人	750 人	66%
並木中学校	445 人	630 人	71%

■学区地図



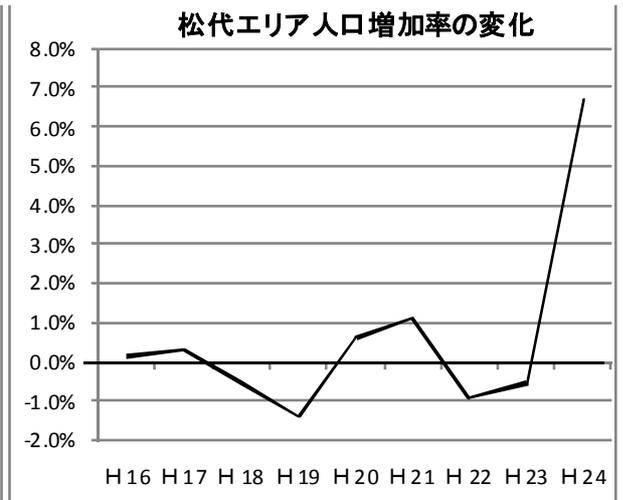
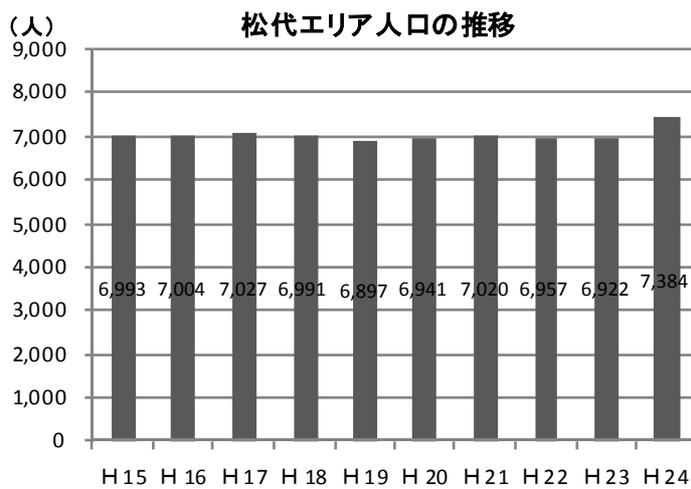
梅園1丁目・2丁目では  
並木小・並木中に変更可能

#### 4. 松代東部エリアに関する各種データ

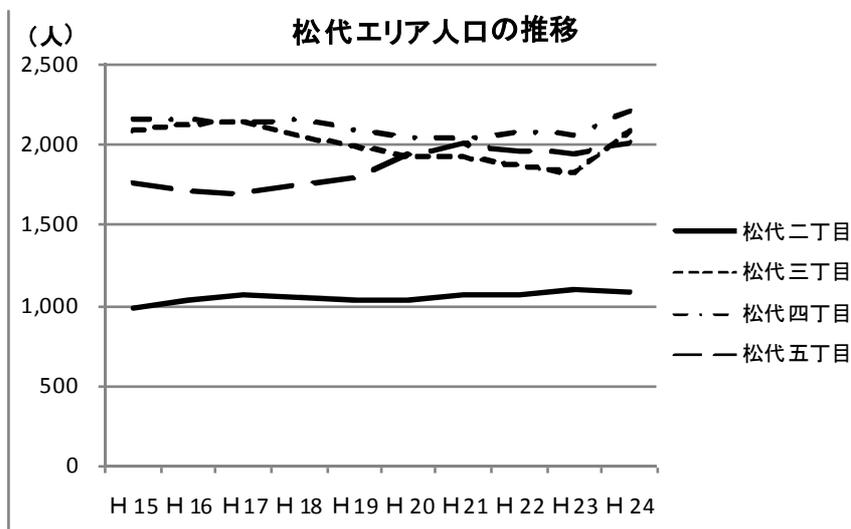
##### (1) 人口（総数）

- 松代東部エリアは公務員宿舎の廃止等行われてきたが、人口の増減はほぼなく、7千人前後で推移している。平成24年には公務員宿舎跡地に開発された住宅への入居が始まった影響等により増加している。
- 民地が多い松代五丁目は人口が増加しており、公務員宿舎が多く立地している他地域では減少している。

##### ■人口の推移（各年10月時点）



##### ■町丁目別人口の推移（各年10月時点）

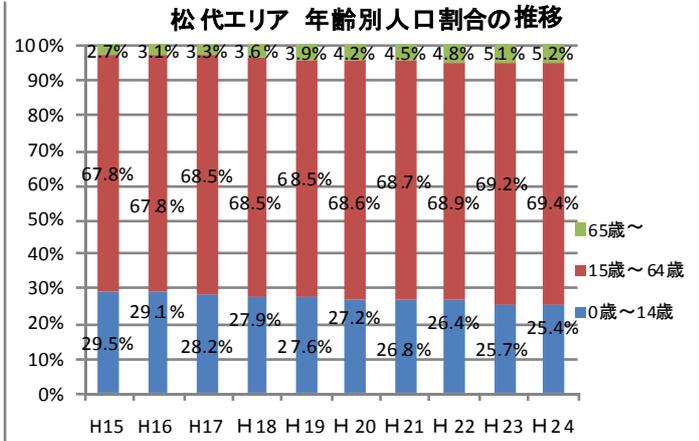
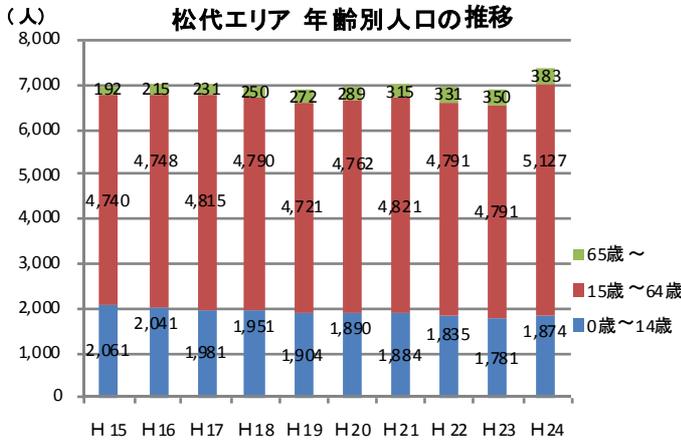


資料：つくば市資料

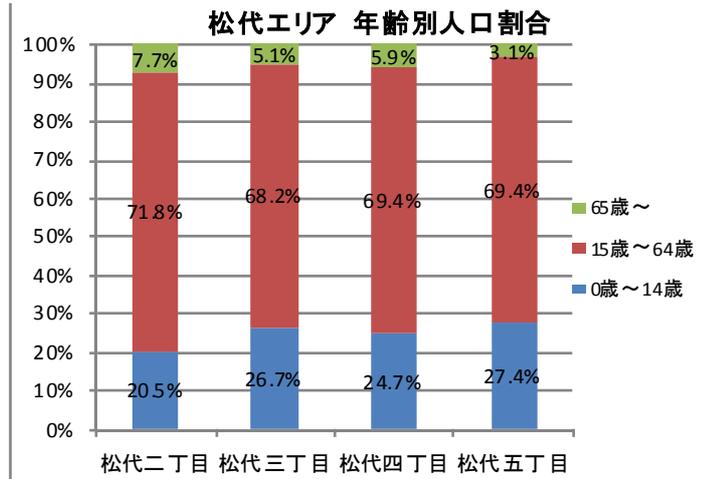
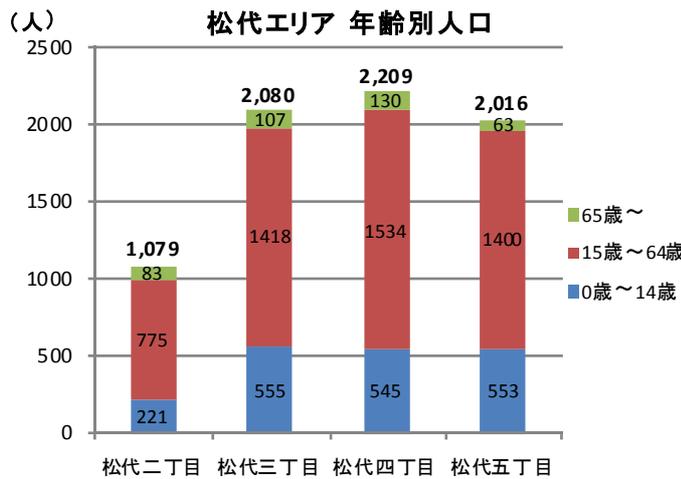
(2) 人口（年齢別）

○公務員宿舎が多いことなどにより，高齢者の割合が低い，若干上昇している。  
（つくば市全体では16%）

■年齢別人口の推移（各年10月時点）



■町丁目の年齢別人口（H24.10）



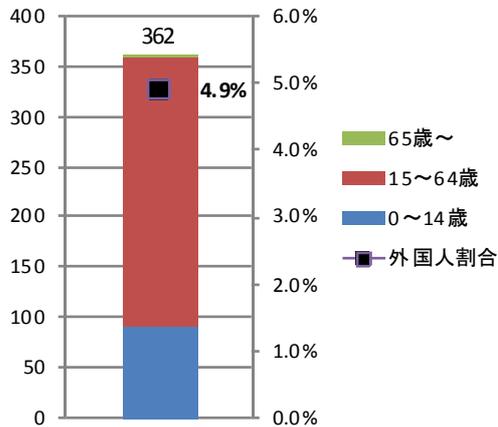
資料：つくば市資料

(3) 人口 (外国人)

○松代東部エリアの外国人比率は5%である。  
 ○町丁目別では、公務員宿舎や県営住宅、UR賃貸住宅などの公的住宅が多い松代四丁目が7%と最も高い。

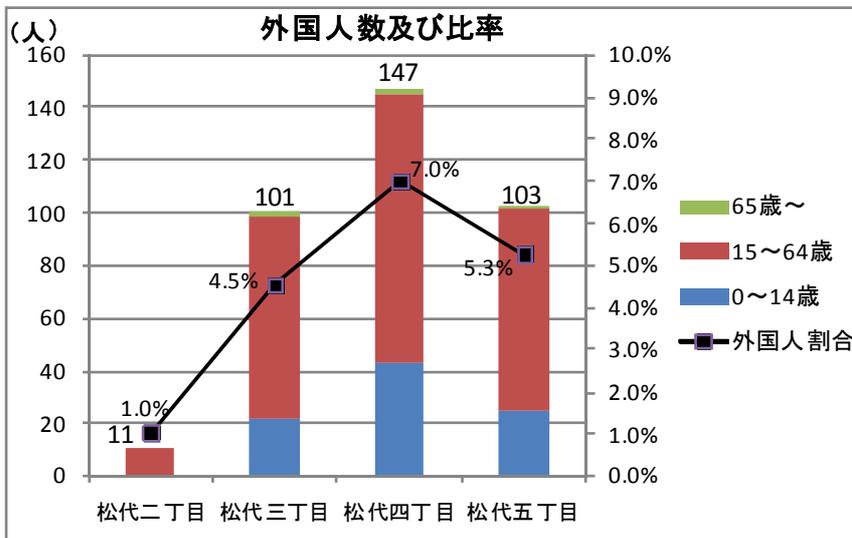
■松代東部エリア外国人数及び外国人比率 (H25.4)

(人) 外国人数及び比率



	0～14歳	15～64歳	65歳～	合計
松代二丁目	0	11	0	11
松代三丁目	23	76	2	101
松代四丁目	44	102	1	147
松代五丁目	25	77	1	103
<b>合計</b>	<b>92</b>	<b>266</b>	<b>4</b>	<b>362</b>

■町丁目別外国人数及び外国人比率



資料：つくば市資料

(4) 土地利用

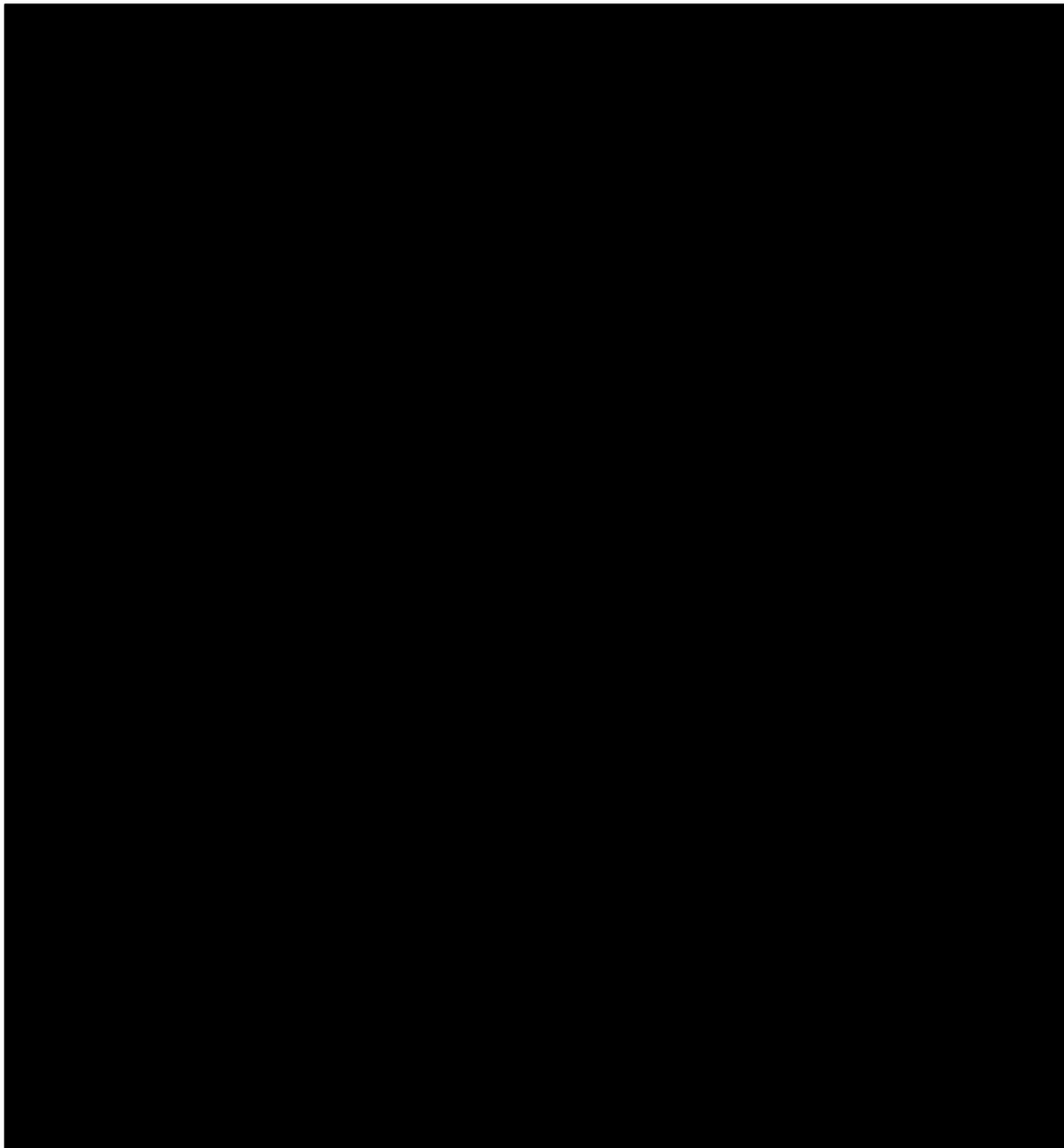
- 松代東部エリアは、全面積の約 35%が公共用地，約 20%が公務員宿舎であり，約 6割が公的な土地利用となっている。
- エリアの北と南に2箇所の拠点が存在し，小学校，保育所などの公共施設が立地している。南側の拠点はショッピングセンターも立地している。住宅は西側が主に公務員宿舎などの公的住宅，南西が民間住宅地となっている。
- エリア西側の公務員宿舎が立地している箇所にはペDESTリアンデッキが張り巡らされており，拠点につながっている。

■土地利用の状況

		面積	公共用地	割合	公務員宿舎	割合
松代エリア	松代二丁目	19.4	7.4	38.1%	0.0	0.0%
	松代三丁目	29.7	11.9	40.1%	0.9	3.0%
	松代四丁目	13	5.1	39.2%	6.2	47.7%
	松代五丁目	31.6	12.3	38.9%	11.8	37.3%
<b>松代エリア合計</b>		<b>93.7</b>	<b>36.7</b>	<b>39.2%</b>	<b>18.9</b>	<b>20.2%</b>

資料：平成 19年都市計画基礎調査及びつくば市資料

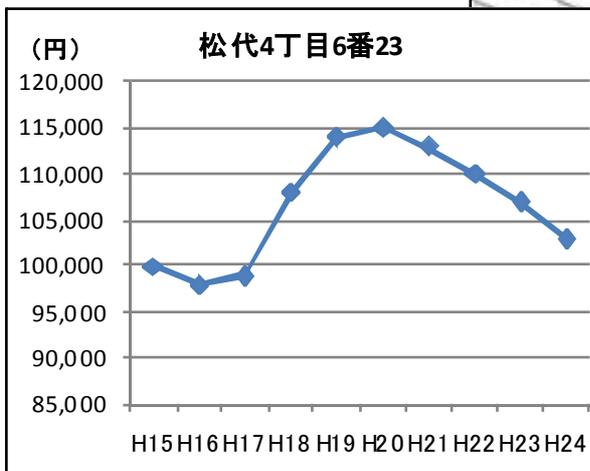
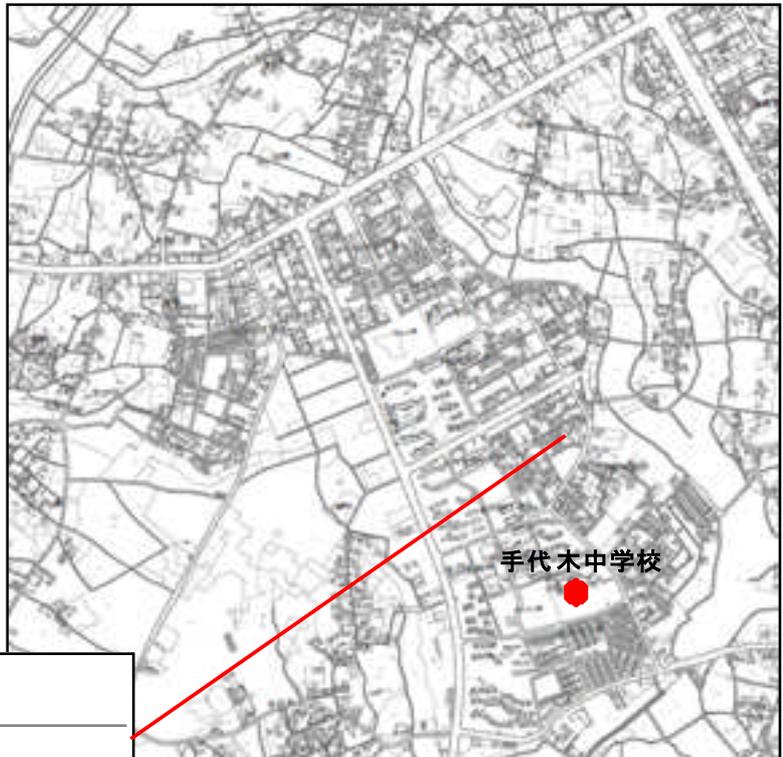
■松代東部エリア図面



(5) 地価の動向

○バブル崩壊後、地価は下落していたが、TX開通後に急激に上昇している。しかし、平成20年以降は下落している。

■地価公示価格及び地価調査価格



資料：地価公示価格及び地価調査価格

(6) 交通

○つくば駅と松代東部エリアを結ぶ循環バスが運行されており、当エリアの主要交通手段となっている。

■交通機関

バス	鉄道	なし
	バス停数	13箇所
	路線数 (高速バス除く)	3路線(系統数)
	高速バス	なし

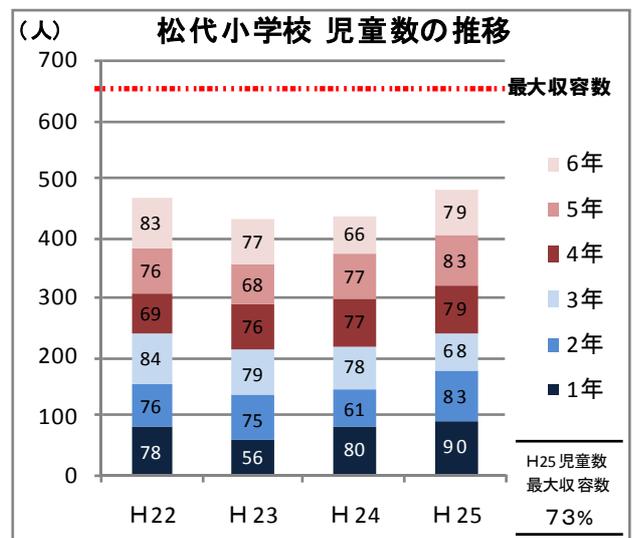
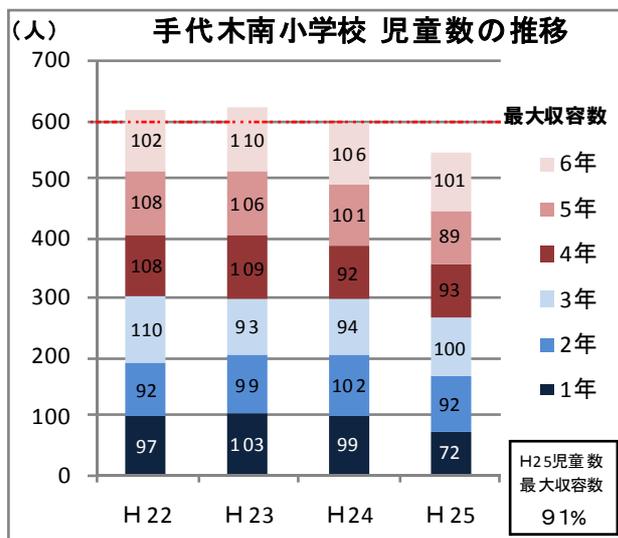
(7) 学校

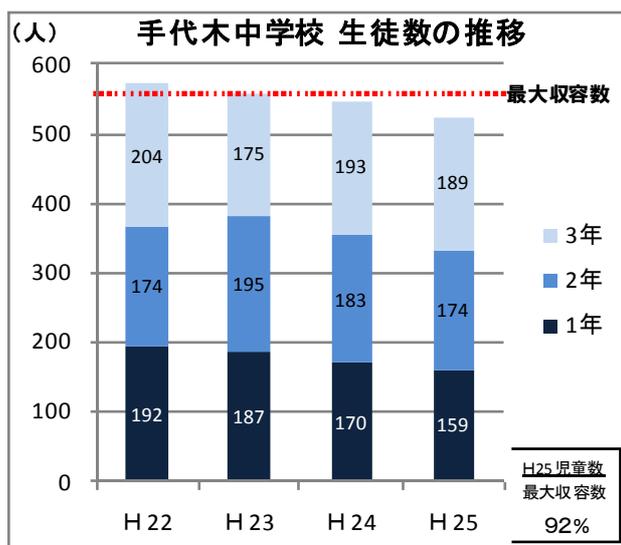
○学区内に公務員宿舎が多く立地している手代木南小学校は、児童数が減少しているが、学校の最大収容数を若干下回っている程度である。

○民間住宅地が多く立地する松代小学校は、近年児童数が増加しているが、最大収容数の7割程度であるため、余裕がある。

○中学校の生徒数は減少しているが、学校の最大収容数を若干下回っている程度である。

■学校別児童、生徒数の推移 (各年4月現在)



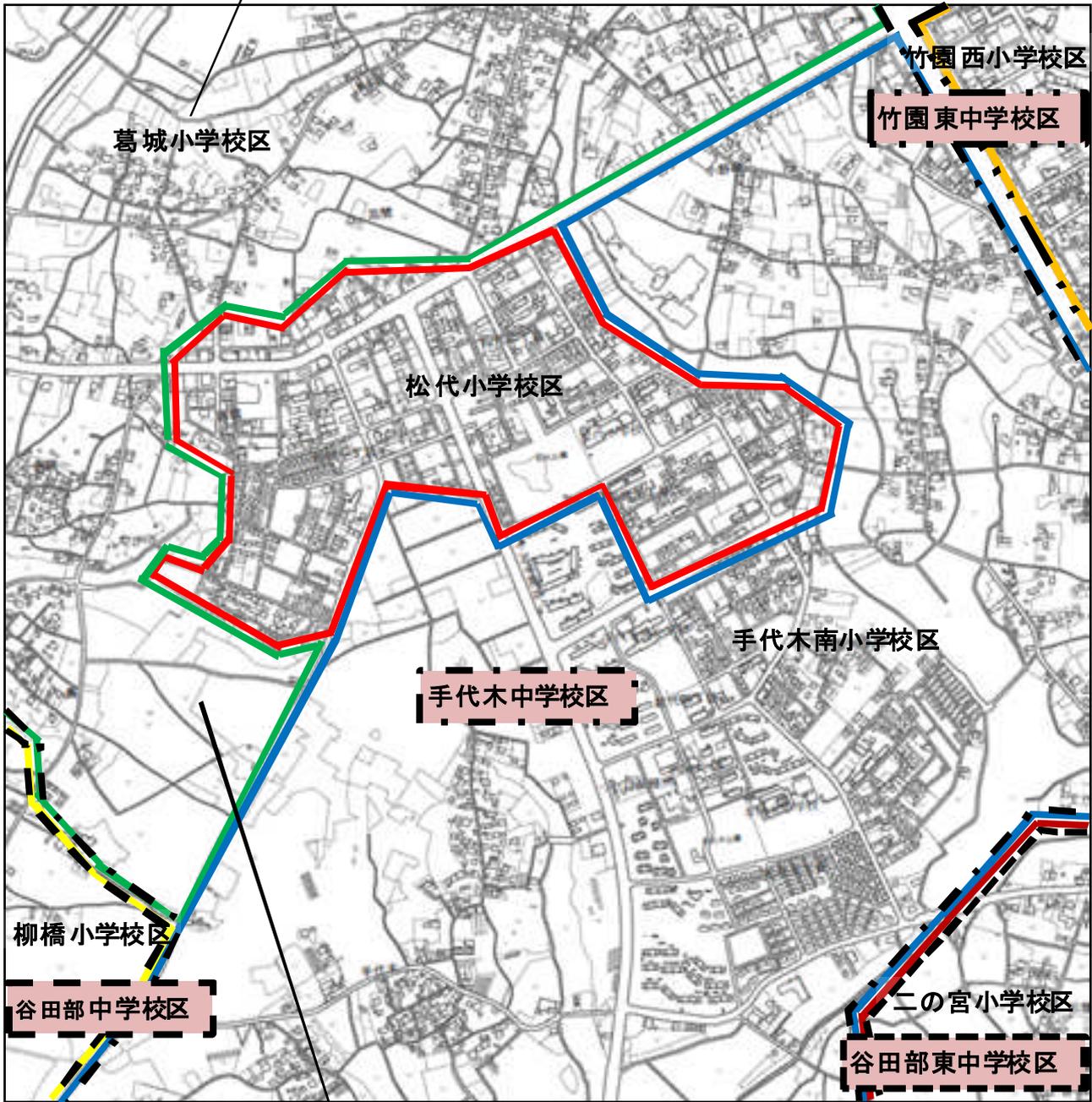


■生徒数及び最大収容人数 (H 25. 4)

学校名	生徒数	最大収容人数	割合
松代小学校	482 人	660 人	73%
手代木南小学校	547 人	600 人	91%
手代木中学校	522 人	570 人	92%

■学区地図

研究学園(E 46～56街区)・葛城根崎・苅間・原  
 ・西大橋・西岡(新生区会)・小野崎(小池区会)  
 ・学園南では春日小・春日中に変更可能



西岡(新生区会を除く)・島では  
 春日小・松代小・春日中に変更可能